

学校名	昭和町立押原中学校
研究主題	「人との関わり合いの中で、自ら考え、表現し、意欲的に学ぶ生徒の育成」 ～自己評価を通し、自ら改善し向上しようとする生徒の育成をめざして～
研究のキーワード <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと [やり取り]」（会話を継続） ・パフォーマンステスト ・ルーブリックを用いた妥当性・信頼性ある評価 ・指導と評価の一体化（バックワードデザイン） ・スモールトーク 	

1 研究内容及び具体的な研究活動

(1) 研究内容

令和2年度は、研究指定校2校（押原中・湖南中）が、山梨県版 CAN-DO リストに基づいた、共通のパフォーマンステスト（県教委原案作成）を実施し、授業改善につなげる研究を行った。両校とも同じパフォーマンステストを行うことで見えてきた、授業改善のポイント、パフォーマンス課題やルーブリック設定のあり方等について、研究を深めた。

(2) 具体的な研究活動

以下のようにパフォーマンステストを計画・実施し、分析・検証を行って授業改善につなげた。

対象：中学1学年

パフォーマンステスト実施時期：2学期末

学習指導要領 目標

「話すこと [やり取り]」

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

山梨県版 CAN-DO リスト

「話すこと [やり取り]」1学年後期

日常的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。

パフォーマンス課題 ※生徒と ALT の実態に応じてリメイクをした部分

ALT の〇〇先生は、中学1年生（新入生）が、どんな人を好きなのか知りたがっています。（メモを使いながら）、自分が好きな人物について、〇〇先生と英語でやり取り（会話）をしてください。〇〇先生からの質問に答えたり、〇〇先生に質問したりするなど、話題が深まるように、会話を継続させてください。ちなみに〇〇先生の家にはテレビがありません。

※メモは、実態に応じて設定する。英単語○語など。文は書かせない。

□ルーブリック ※生徒の実態に応じてリメイクをした部分

	知識・技能	思考・判断・表現 (※2)	主体的に学習に取り組む態度
a	三人称単数現在形などを使って、誤りのない正しい英文で話すことができる。	フィリップ先生の質問を理解し、 <u>情報を加えたり話題にあった質問などをしたりして</u> 、会話を継続させている。	フィリップ先生の質問を理解し、 <u>情報を加えたり話題にあった質問などをしたりして</u> 、会話を継続させようとしている。
b	三人称単数現在形などを使って、誤りがあるが、コミュニケーションに支障がない程度の英文や英単語を使って話すことができる。(※1)	フィリップ先生の質問を理解して <u>答えながら</u> 、会話を継続させている。	フィリップ先生の質問を理解して <u>答えながら</u> 、会話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

(※1)

コミュニケーションに支障のない誤り	コミュニケーションに支障のあるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の単数、複数 ・冠詞の有無 ・簡単なつづりのミスなど (「書くこと」) =意味の理解に支障のない部分的な誤り =local error 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要語の欠落や誤り ・文構造の誤り ・大幅なつづりのミスなど (「書くこと」) =意味の理解に支障のある全体的な誤り =global error

(※2)

a: 下記の想定されるパフォーマンス例の二重下線部=双方向のやり取り

b: 下記の想定されるパフォーマンス例の下線部=ややインタビューのようなやり取り・答え+α

□想定されるパフォーマンス例 ※生徒の実態に応じて、想定されたパフォーマンス

ALT (Philip)	生徒
Hello.	Hello, Philip. How are you?
I'm good, thank you. So today I want to know about your favorite person, Tell me please. (Sorry, I have no TV at home.)	OK. About my brother.
What is his name?	His name is Ren.
How old is he?	<u>He is 16. He is a high school student.</u>
Oh, really? Does he like any sports?	<u>Yes, he does. He likes soccer. He is good at dribbling. Do you like soccer, too?</u>

<p>Yes, I like soccer very much. I often play soccer with my child. Do you play soccer?</p> <p>Yes, let's. Thank you.</p>	<p>Yes, I do. <u>Let's play soccer together, Philip-Sensei.</u></p>
---	---

□パフォーマンステスト実施前に主に授業で取り組んだこと

- ・2学期はじめに「自分が好きな人」についてスピーチを行った。
- ・「自分が好きな○○」について、生徒間でやり取りを行ってきた。

2 研究の成果と課題 (○成果●課題)

⇒研究会・学習会で分析・検証したこと

①パフォーマンス課題について

- 「自分が好きな人についてやり取りする」という目的・場面・状況が、生徒にとってわかりやすかったと思う。
- パフォーマンス例が、中学1年の姿（実態）とかけ離れていたため、もう少し短い文で、既習事項を用いたやり取りを提示した。
- 生徒が「自分が好きな人」について、授業で書いた紹介文メモをもとに、ALTとやり取りするという設定にしたため、オーセンティックなやり取りから離れてしまった。一方で、初めて「話すこと [やり取り]」のパフォーマンステストを行ったので、生徒にとっては、手助けとなった。

⇒1学年のCAN-DOリストや生徒の実態に基づいて、パフォーマンス課題や想定されるパフォーマンス例を練り直し、指導と評価を行った。今後、「会話を継続・発展させる」ことができるように、課題設定の工夫や系統的な指導と評価が大切となってくる。

山梨県版 CAN-DO リストより

- 1 学年 日常的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- 2 学年 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続させることができる。
- 3 学年 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続・発展させることができる。

⇒コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、生徒が思考・判断・表現する言語活動が行われているか？

「ALTの家にはテレビがない」という場面設定をし、相手の状況を理解させ、生徒に思考させたかったが、生徒は「自分が好きな人を紹介しやり取りすること」に終始してしまい、相手の立場に立った「外国語科における見方・考え方」を働かせるまでには至らなかった。

②ループリックについて

- 「知識・技能」のb評価に「単語」でのやり取りも加えて評価したため、「英文」でやり取りする生徒が少なくなってしまった。

⇒スマールトーク等の中間指導において、リキャストしながら、単語での発話を文での発話に発展させているか？

指導してきたことを評価する。一方で、目標に準じた指導を行い、評価することも大切。

③パフォーマンステストを実施して

生徒

- ALTと1対1でやり取りするパフォーマンステストを初めて行うことができた。
- ALTに自分から質問したり、情報を加えて話したりする生徒がいた。
- 相手が言っていることが分からないときに、**One more time, please.**など、やり取りの内容を確認しながら、会話を進めている生徒が多い（小学校からの積み重ね）。
- 発話に困って、黙ってしまう生徒がいる。つなぎ言葉を使わせたい。
- 単語だけでなく、文でもやり取りをさせたい。
- ALTからの質問に答えるのに精一杯で、質問を返すなど、やり取りが続かない現状がある。
(Yes, I do. / No, I don't.で会話を終わらせず、新たな情報（1～2文）を付け加えたい。)

教師（JTE/ALT）

- 生徒が黙ってしまったときのALTのパラフレーズやリキャストがとても上手だった。子供たちの英語力を理解しており、質問内容やスピードを変化させながら、生徒の思考を促していた。
- ALTとJTEが事前に打ち合わせを綿密に行ったため、それぞれのクラスで、パフォーマンステストの内容に大きな差異がなかった。
(例) Doesを使った質問をする。生徒本人のことを質問する。
- JTEの打ち合わせでも評価基準を明確にしたため、信頼性・妥当性がある評価になったと思う。
- スマールトークに取り組んでいるが、単発で実施しているために質的・量的な発展が見られない。
- コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、生徒が思考・判断・表現する言語活動を授業の中できちんと仕組んでいく必要性を改めて感じた。

3 来年の研究に向けて（以上の課題を受けて、令和2年度3学期以降の取組）

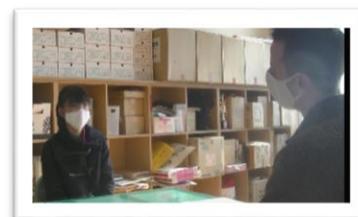
- ・系統的な帯活動（スマールトーク等）の実践・検証
中間指導（パラフレーズやリキャスト等）のあり方・会話の継続・つなぎ言葉・相づち・関連質問・思考して表現するやり取り・技能統合 等
- ・バックワードデザインによる授業づくり
指導内容＝評価内容＝学習内容 → 指導と評価の一体化
- ・信頼性・妥当性・実用性のある学習評価のあり方
質的評価（パフォーマンス評価）・3観点評価・記録に残す評価・振り返り・ICTの活用 等
- ・小・中・高連携
小・中・高を貫くCAN-DOリストに基づいた授業実践・教材、指導法、学習法等の共有

【参考資料1】生徒のパフォーマンススクリプトと評価例

A: ALT S: Student

Student1

A: Please tell me about your favorite person.
 S: It's soccer player.
 A: What's his name?
 S: Messi. Lionel Messi.
 A: Lionel Messi. OK.
 S: Do you know Messi? (思判表: 自ら質問)
 A: Yes, I do. He is a good soccer player. I like him.
 Do you know where he is from?
 S: He is from Argentina.
 A: OK. Does he love his family?
 S: Yes.
 A: What team does he play on?
 S: He on the FC Barcelona. I like Barcelona. (知技: 正確さ)
 A: Good. His number is 10.
 S: Yes. ※+αの情報を伝えたい
 A: Do you play soccer, too?
 S: Yes. I like soccer.
 A: What position do you play?
 S: MF (Mid Fielder).
 A: I like soccer very much, too. OK. Thank you very much.
 S: Thank you.



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	b	b

Student2

A: Please tell me about your favorite person.
 S: OK. My favorite character's name is Tanjiro.
 A: Tanjiro?
 S: (うなずく)
 A: What anime is he in?
 S: Yes... One more time please. ※相手が言っていることが分からないときに確認ができる
 A: OK. Tanjiro. The name is Tanjiro. What anime? ※パラフレーズ
 S: Ah, Kimetsu-no-Yaiba.
 A: I see. Does he have a lot of family?
 S: Yes. He ah many brother and sister. ... (知技: 正確さ)
He is a head. He is aTop, top, top. (思判表: 新たな情報)
 A: The leader? I see. Can you tell me another family name?
 S: I don't know. Sorry. ※分からないとはっきり言える
 A: OK. I know Kimetsu-no-Yaiba. One more is Nezuko. Do you know Nezuko?
 S: Yes.
 A: Do you know her?
 S: Yes. She is... she is very cute. (思判表: 新たな情報)
 A: Very cute? I see. OK. Thank you very much.
 S: Thank you.

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
c	b	b

Student3

- A: Please tell me about your favorite person.
S: OK. About my brother. His name is Kai.
A: Kai. I know him. He was a student in this school.
S: Yes.
A: What sport does Kai play?
S: He plays baseball. He is good at batting. (知技：正確さ) (思判表：新たな情報)
Do you play baseball? (思判表：自ら質問)
A: Ah... No, I don't. I play soccer.
S: Oh, nice! ※リアクションがとれる
A: But Kai was a very good baseball player. Does he listen to music too?
S: Yes. ※+αの情報を伝えたい
A: He was president of this school. Do you want to be president, too?
S: No, I don't.
A: Difficult job?
S: Yes.
A: Very difficult. I think so too. Your brother was a good student.
You are a good student, too.
S: Thank you.

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	a	a

Student4

- A: Please tell me about your favorite person.
S: My friend, My friend is... His name is Rikuto.
He is cool and smart. And he can play soccer.
A: OK. Does he run fast?
S: Yes. He is very fast.
A: Very fast?
S: Very fast.
A: Soccer player? What is he good at?
S: Nice dribbling. Ah... he is good at lifting. (知技：正確さ) (思判表：新たな情報)
A: OK. Lifting and dribbling are very good.
S: Yes.
A: OK. Nice. What sport do you play?
S: He is... My? ※相手の質問に、正確に的確に答えようとしている
A: He is good at soccer. How about you? What sport do you play? ※パラフレーズ
S: Ah... I can play tennis a little.
A: A little? Soccer?
S: No, I can't.
A: You can't? I see.
S: How about you? (思判表：自ら質問)
A: Ah, yes. I can play soccer very well.
S: Oh nice! Very nice! ※リアクションがとれる

A: OK. Finish. Thank you.

S: Thank you.

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	a	a

Student5

A: Please tell me about your favorite person.

S: My person is Michel Jackson. He's a king of pops.

A: Yes, king of pops.

S: He is famous around the world.

He likes... He likes singing. He is a famous singer

A: Does he dance too?

S: Yes. He dance Moon Walk. (知技: 正確さ) (思判表: 新たな情報)

A: Yes. Can you dance Moon Walk?

S: No, I don't. (知技: 正確さ)

A: I can't do it, but it's very cool, isn't it?

What Michel Jackson song do you like?

S: Thriller.

A: That's very famous. I like it too. The dance is very cool. OK. Thank you very much.

S: Thank you.

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	b	b

Student6

A: Please tell me about your favorite person.

S: He is... His name is Hiroto. He is my brother.

A: How old is he?

S: He is 9 year old. He birthday is November 23rd. (知技: 正確さ)

A: What sport does he like?

S: He likes baseball. Do you like baseball? (思判表: 自ら質問)

A: Ah, I don't like baseball. I like soccer very much.

What sport do you like?

S: えーっと He likes... I don't like sports. ※つなぎ言葉

A: Oh, you don't like sports, I see.

One more question. What food does your brother like?

S: えーっと He likes hamburger. Do you like hamburger?

A: Yes, very much. Very delicious.

S: えーっと What hamburger do you like? (思判表: 自ら関連した質問)

A: McDonald's. Big Mac. I like Bic Mac the best. How about you?

S: えーっと I like Ebi Filet.

A: In McDonalds? I see. I'm hungry now. I want to eat hamburger.

OK. Thank you very much.

S: Thank you.

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	a	a

帯活動(Small Talk)

「話すこと[やり取り]」

関心のある事柄(日常的な話題)について、簡単な語句や文を用いて、即興で事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。

相手からの質問に答える

会話を継続

会話を継続・発展

とっても難しい
すぐにできるように
はならない
日々のトレーニング
が必要

5. 「帯活動」に係る指導資料について

■英語を用いたコミュニケーションを教師も行う。

展開案について

言語活動 及び 各対話例(教師の発話例)	言語活動 及び 対話例(生徒の発話例)	指導上の留意点
1. Introduction Teacher Talk T: It was the Golden Week last week. Did you have fun? I enjoyed it very much. S1: Did you enjoy the Golden Week Holidays? Yes? (全員に問いかける) S2: Did you enjoy the Golden Week Holidays? T: That's nice. What did you do? T: I went to Tokyo. How about you? T: You went to Fukuoka. That's nice. How about you. S2? Did you enjoy it? T: What did you do? T: Oh, you went to Osaka. That's good. What did you do in Osaka? T: Well, you enjoyed... (こじしたやり取りを、教員の生徒と行う)	1. Interactive Teacher Talk S1: Yes. S2: Yes. S1: えーと?? S2: ああ、I go to Fukuoka. S2: Yes. S2: I went to Osaka. S2: ...	1. Introduction Teacher Talk ● 授業への展開付け ● 生徒の発話と教師の発話に関する指導
2. S-S Interaction 1 T: Let's talk about Golden Week holidays in pairs.	2. S-S Interaction 1 対話例 A: Did you enjoy the Golden Week Holidays? B: Yes. A: That's nice. What did you enjoy? B: Tennis. A: Tennis. That's good.	2. S-S Interaction 1 ● 以下のいずれかを計画的に行う。(長時間全てを行う必要はない) ● 発話の形式 ● 取組状況の確認
3. Sharing Do you have any questions? T: How do you say... (行った) 遊んだ (楽しかった) 遊んだ (楽しかった) T: That's right. "I went to Tokyo." "I went to Tokyo." S3: can you say that? T: Very good. Anything else? T: What was the first question? (生徒全員に問いかける)	3. Sharing Time S3: へ行つたって何と書うのですか。 S4: go to ~ S5: I went to ~ じゃない? S2: I went to Kyoto. S6: はじめの質問なんて言うのか。 S6: "Did you enjoy the Golden Week holidays?"	3. Sharing ● 以下のいずれかを計画的に行う。(長時間全てを行う必要はない) ● 発話の形式 ● シェアリング(英語表現の想起) ● 対話の継続
4. S-S Interaction 2 T: Let's talk again about the same topic in new pairs.	4. S-S Interaction 2 対話例 C: Did you enjoy the Golden Week Holidays? B: Yes. C: That's nice. What did you do? B: I enjoyed tennis. C: Tennis. That's good.	4. S-S Interaction 2 ● 発話の確認

■指導過程を統一。

■生徒の発話をイメージして指導。

■指導上の留意点の詳細は別紙にまとめて提示。
(「③ Sharing」での意図的な指導が極めて重要)

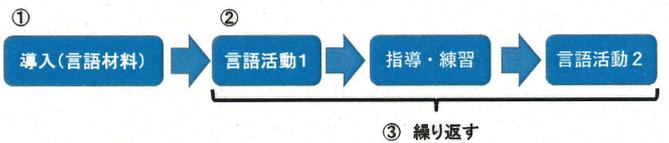
5. 「帯活動」に係る指導資料について

Small Talk 指導のポイント

内容の伝え合いを重視。その中で必要な指導を行う。(活動を通して指導する)

- 内容重視** ・身近な話題の中で、自分自身の考えや気持ちなどを伝え合わせる。
・教師も自分自身のことを英語で伝える。やり取りを楽しむ。
- 対話の継続** ・対話を継続することができるような表現を段階的に使わせていく。
- 既習表現の活用** ・伝えたいことを伝えることができるよう、既習表現を想起させる指導を行う。
- 指導過程** ・3や4を、「活動→指導→活動」の過程で指導する。 ※詳しくはp.12参照。
- 指導観** ・指導の成果が出てくるのには時間がかかることを理解して指導。フォーマットを暗記させるなど、その場限りのパフォーマンスを求める指導はしない。

「言語活動を通して」資質・能力を育成



① 教師が生徒と英語でやり取りするSmall Talkで、当該言語材料が使われる自然な場面を設定。
※場面(文脈)の中で「意味(音を含む)」と「機能(使われ方)」を捉える。その後「形式」を捉える。

② 言語活動1(実際に使って、互いの思いや考えを伝え合う)→教師による中間指導・生徒による気づき→言語活動2(ペアを変えるなど)

③ 言語材料の提示がない状況でも、別の言語活動を通して、生徒は繰り返し、その表現を使いながら身に付けていく。

会話を継続・発展させるために必要なこと



中学校学習指導要領(平成29年告示)解説
外国語編P61 「話すこと[やり取り]」ア

- 相手に聞き返したり確かめたりする。
(Pardon? / You mean..., right?)
- 相づちを打ったり、つなぎ言葉をういたりする。
(I see. / Really? / That's nice.)
- 相手の答えを受けて、自分のことを伝える。
(I like baseball, too.)
- 相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える。
(What kind of Japanese food do you like?
How about you?)

など

【Warm-Up】

今日会った人と仲良くなったり、自分のことをもっとよく知ってもらったりするために、相手に質問したり、その場で答えたりしてやり取りを継続しましょう!

○相手と仲良くなったり、自分のことをもっとよく知ってもらったりするためには...

やり取り(会話)を「継続・発展」させる必要がある!

(例) 答えに新たな情報を加える

では、相手にどんな質問をすればいい?
相手からの質問にどのように答えればいい?
他にどんなことができる?

(例) 話題に関連する質問をする

(例) 相づち・リアクション
繰り返し=共感する

○コミュニケーションには、誤解や理解できないことが付きもの...

(例) 聞き返す・確かめる

どう解消する?

